

プロフィール

- 昭和39年9月18日生まれ
- 長崎大学教育学部卒
- 1987年4月より長崎市消防局に33年間勤務
- 119番指令室責任者、指揮隊長、出張所長として活躍
- 党諫早市委員
- 家族は妻と1男、1女、孫1人
- 九州一周駅伝
長崎県代表として出場(計4回)
- 県下一周駅伝では市代表として42歳まで20年連続出場

諫早のため
一人のため
くらしを守る

いわたけ
よういち



いわたけ
が目指す 新たな諫早のまちづくり

いわたけ物語



物語 1 スポーツで培った挑戦する心

小さい頃から活発で野球やマラソンが得意だったいわたけ。小学校から大学まで野球部に所属し、トライアスロンにも挑戦。大学4年の時、国内外の大会にも出場したいわたけ。

物語 2 「人のために!」がモットー

塾講師として働く父の姿に憧れ長崎大学教育学部へ進学したいわたけ。「多くの命を守りたい」と決意し消防局に就職したいわたけ。

物語 3 命を守るために働いた33年間

消防局で33年間、市民の命を守ることに徹してきたいわたけ。火災現場で命をかけて指揮をとり、年間3万件を超える119番対応の責任者としても活躍したいわたけ。

いわたけの 決意

諫早市は県の中心部に位置し県内外から多くの人交流する重要なまちです。大好きな諫早市がこれからもより安心して元気に暮らせるまちにしていきます!

みんなのくらしを守る!

3つの諫早づくり

① 災害に強い

消防士として 諫早づくり
の経験を活かして災害から市民の命を守る仕組みづくりを目指します。

② スポーツの力で活気ある

施設の充実や市民 諫早づくり
参加型のイベントなどを通し、活力と元気にあふれる街を目指します。

③ 全世代にとって住みよい

若者の雇用創出や高齢者にやさしい地域包括ケアなど、各世代への支援を拡充します。中でも、子育て世代の応援として出産や育児に対する支援にも取り組みます。





「小さな声」を聴く力 公明党の主な実績

新型コロナ対策

25以上の政策提言で
公明党がリード

すべての人々に

・特別定額給付金

山口代表は2020年4月15日、安倍首相へ直談判。その行動が政府を動かし、10万円一律給付を実現しました。



自公党首会談後、記者団の質問に答える山口代表
＝4月15日 首相官邸

所得制限
なしで一律 **10万円** を給付

諫早市ではさらに！

市へ緊急要望 (2020年5月)

経済面を含め市民生活への多大なる影響を考慮し、国の地方創生臨時交付金の活用も含めて追加の対策を要請しました。

妊婦の方が安心して
出産できるように配慮し、
特別定額給付金の拡充

(※R2.4.27からR3.4.1までの出産が対象)

基準日(R2.4.27)以降の
出産に対して

1人当たり

10万円 を給付諫早市
ニュース全市立小中学校(42校)に
エアコン設置

夏場の猛暑による熱中症などから子どもたちを守る。
市内全小中学校(42校)の普通教室と図書室など一部の特別教室でエアコン設置が完了。



市民の消費を喚起し、地域経済の活性化を

いさはや地域振興商品券

30%のプレミアムが付いた

「いさはや地域振興商品券」を2度発行。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で
売上が減少した市内事業者及び消費者を支援!

全市立小中学校児童生徒向けに
タブレットPCを整備

2021年度、全市立小中学校の児童生徒に1人1台
端末が整備されます。今後は自宅などでも授業が
受けられるようさらなる推進に取り組みます。

国・県・市のネットワークで
課題を解決! 国道の渋滞解消を!

地元からの要望を受け国・県と連携し
視察。国道207号の早期拡幅など整
備に尽力。